

自分を認めて自分を愛すること

酒匂中学校 三年 古屋 和心美

今、世界で理解が深まってきている「LGBTQ」を知っている人も多いでしょう。LGBTQというのは、様々な恋愛の仕方の特徴文字を取ってできた言葉です。Lはレズビアン、女性の同性愛者。Gはゲイ、男性の同性愛者。Bはバイセクシュアル男女の両性愛者。Tはトランスジェンダー、心と体の性別が異なる者。Qはクエスチョニング、性的対象や性自認が定まっていない人。

私も実はLGBTQです。LGBTQの中でも私はBのバイセクシャルです。自分がバイセクシャルだと気づいたのは小学五年生の時でした。当時、私のクラスにはとても可愛い女の子がいました。最初は友達として接していたものの、話していくうちに友達や人としての好きとは違う感情がでてきました。過去に感じたことのある感情とどこか似ていました。友達を越えた先にあったのは私の中の恋愛感情でした。当時の私は、「まさか自分が女の子を好きになるなんて。」と思っていました。それが初めて自分がバイセクシャルだと気づいた経験でした。しかし、当時は、LGBTQというのはまだ世間にはあまり知られておらず、私も耳にしたことがある程度でした。そこから私はLGBTQについて興味や関心が深まってきました。LGBTQのことを知るためには、互いに対する理解が必要だと感じました。しかし、現実はその簡単ではありませんでした。SNSが普及している今の時代、人々の身近に感じていることの声は簡単に届きます。そんな中、LGBTQについての様々な記事や投稿を見てみると、LGBTQを理解しようとしているコメントの中に一つ、目に留まるコメントがありました。「きもい」というコメントが私の心に刺さりました。「LGBTQってきもいと思われるのか。」「そういった不快感がありました。」「私のような人はみんなきもいと思われているのか。」「そんなことを考える日々が続いていました。」

ある日、いつものようにSNSを見ていると、海外に行き、同性婚をした男性がいるのを見て驚きました。「なぜわざわざ海外に?」と思いました。その答えはすぐに出ました。日本では同性婚は認められていないのです。同性婚が認められていない国から旅立ち、同性婚が認められている国で結婚できた彼らの気持ちは想像もつきません。

このように、同性婚が認められていなかったり、LGBTQに対してまだまだ理解の足りていない人や国があります。「自分を受け入れてくれない。」「認めてくれない。」「といった悩みを抱えている方々、同じ世界だけを見ないでください。同性婚を認めている国は八月時点で三十五ヶ国もあります。中には、二〇〇一年から同性婚を認めている国もあります。LGBT

TQに対する差別、偏見を持ち、からかったりバカにするような人もきつとまだ世の中にはいます。LGBTQのみならず、人種差別や障がいに対する差別などを持っていたり、批判してくる人もいるでしょう。認めてくれない、受け入れてくれないことに対する悩みや苦しみもあるでしょう。世界は広いです。いつかきつとあなたのことを受け入れ、認めてくれる人々が世界には数多くいるでしょう。

LGBTQ。恋愛の仕方に対する「普通」なんて気にせず、ありのままの自分を隠さず、恥ずかしながら、信じてあげてください。私も最初は、自身がバイセクシャルであることを隠していました。しかし、初めの一步、最初の勇気を踏み出したおかげで今はこうして、自分がバイセクシャルであることを隠さずにいます。

まずは自分を信じ、認めてあげてください。それがいつの日か自信に変わります。自分を愛してあげてください。